

★「SD 講師養成プログラム～伝える楽しみを实践する～」 開催報告★



会員大学 6 大学（会員外 1 大学）から、
8 名（会員外 2 名）が参加。

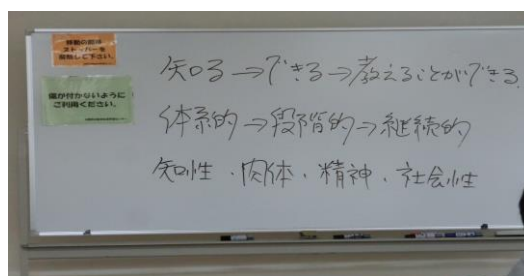
最初にオリエンテーションがあり、
塩川氏（追手門学院大学 客員研究員・SD 研修準備
委員）によるアイスブレイクで参加者同士の交流を図
ることからスタートしました。

米澤氏（追手門学院大学 理事長・学長室 審議役・
大学コンソーシアム大阪 SD 研修準備委員長）の講義
の様子です。SD 講師の必要性と大学職員が SD 講師を
するメリットについてお話がありました。
また、本研修の到達目標として以下の 4 つが挙げられ
ました。

- (1) スタッフ・ポートフォリオ必要性を説明する
ことができる。
- (2) 自分の強みを説明することができる。
- (3) SD 講師の必要性を説明することができる。
- (4) プレゼンテーションのスキルを 3 つ以上説明
することができる。



続いて、秦氏（追手門学院大学 学長補佐・教育開
発センター長・基盤教育機構 教授・SD 研修準備委
員）から、講師に必要なスキルとして、アクティヴ
ラーニングを活用した授業マネジメントを学びま
した。





引き続き、秦氏による到達目標の作成方法の講義の様子です。
参加者の皆さんはグループに分かれ、意見交換をしながら、シラバスを作成していきました。

昼食休憩でさらに交流を深めた後、いよいよプレゼンテーションの実践です。
事前課題のスタッフ・ポートフォリオをもとに、講師の個別アドバイスを受けながら、自分の得意分野のSD研修のプログラムを作成し、発表の準備を進めます。



皆さん、ご自分の専門分野を活かした素晴らしい内容のプログラムを発表されました。
講師からはその内容のみならず、発声の仕方や身だしなみまで、多角的な講評がありました。



最後に、事後課題（自分の強み（専門）を活かしたSD 研修プログラムを作成する）に関する案内と、本日の研修内容の振り返り、質疑応答を行い、受講者には修了書が授与されました。

プログラム終了後、大学職員のネットワーク構築のきっかけづくりを目的に情報交換会を開催しました。

以上